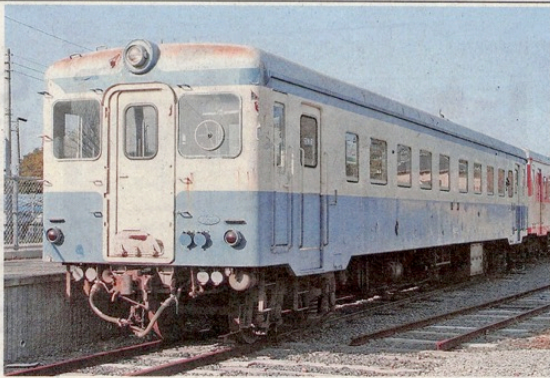


(第3種郵便物認可)

「神体」として活用が予定されている、ひたちなか海浜鉄道のキハ222の形「ひたちなか市で



那珂湊に「鉄道神社」を

海浜鉄道キハ222「神体」に

ひたちなか市の那珂湊地区に「鉄道神社」をつくり、門前となる本町通り商店街を参道にする計画が市民の間で持ち上がった。地元ひたちなか海浜鉄道線は長年活躍したキハ222形の気動車を「神体」に見立て、お参りしてもらいたいという趣向で、鉄道ファンを街に呼び込んで商店街振興につなげる考えだ。

参道化計画を進めているのは、本町通り商店街の振興に取り組む町づくり団体「三鉄もの（佐藤久彰代表。キハ222の形は一九六八年に製造された有数の長寿を誇る気動車で、北海道の羽幌炭礦鉄道で運用に就いた。七一年に湊線にや

商店街を参道化へ

参道化計画を進めているのは、本町通り商店街の振興に取り組む町づくり団体「三鉄もの（佐藤久彰代表。キハ222の形は一九六八年に製造された有数の長寿を誇る気動車で、北海道の羽幌炭礦鉄道で運用に就いた。七一年に湊線にや

「鉄道神社」をつくり、門前となる本町通り商店街を参道にする計画が市民の間で持ち上がった。地元ひたちなか海浜鉄道線は長年活躍したキハ222形の気動車を「神体」に見立て、お参りしてもらいたいという趣向で、鉄道ファンを街に呼び込んで商店街振興につなげる考えだ。

参道化計画を進めているのは、本町通り商店街の振興に取り組む町づくり団体「三鉄もの（佐藤久彰代表。キハ222の形は一九六八年に製造された有数の長寿を誇る気動車で、北海道の羽幌炭礦鉄道で運用に就いた。七一年に湊線にや

那珂湊本町通り商店街「参道化計画」とは？

ひたちなか海浜鉄道所有、日本最古とも言われる気動車の名車「キハ222」が現在、阿字ヶ浦駅で潮風に晒され、錆も酷く、朽ち果てようとしております。

この名車を、那珂湊本町通商店街へ移設し、全国で行われる、文化遺産としての静態保存なのではなく、「世界初の車輛そのものをご神体」とした鉄道神社として保存。修繕等諸費用も賄おうと考えております。

三鉄ものがたり実行委員会が、これまで、鉄道ファンを呼ぶことで街おこしを行っている延長として、商店街活性化、那珂湊の鉄道界の「アキバ化」への起爆剤として活用したいと考えております。設置場所は、商店街最奥に設置することを最良と考え、これまで2年間、三鉄ものがたりが様々なイベントを通じて全国から鉄道ファンを呼び続けておりました。このことで観光客を商店街の隅々まで練り歩いて頂けると考えております。

三鉄ものがたり実行委員会とは・・・

鉄道模型・鉄道ファンのサロン運営で、ひたちなか海浜鉄道のお客さんの誘客、那珂湊焼きそばの鉄板で懇親会を企画し、那珂湊本町通り商店街、及び旧那珂湊地区の活性化を目的に設立。

■平成26年度・27年度

茨城県商店街活性化コンペで初の連続2回最優秀賞を受賞

■全国鉄道検定試験など実施

平成26年10月より、毎週欠かさず商店街の空き店舗に、鉄道模型を無料で自由に遊べるジオラマを設置。毎月様々な企画で、茨城県内はもとより関東内外各地より鉄道ファンを集めている。

*協力：那珂湊本町通り商店街・那珂湊焼きそば大学院・ひたちなか海浜鉄道(株)

